

日本最大の道教のお宮

聖天宮 (坂戸市)

台湾人・康大法師が 神のお告げで建設

坂戸市の田園風景の中に突如現れる極彩色の道教のお宮「聖天宮」。日本でも最大級のこの豪華な建築は、台湾人の康國典大法師が神のお告げを受けて、全く縁のなかつた異国の地に建設した。康國典大法師の息子で、お宮を管理する康嘉文さんにお宮の由来などについてお聞きした。

—創設者の康國典大法師は道教における坊さん(道士)ですか。
康 そうではありません。法師です。
台湾では道教のお宮にお参りに行く風習があります。貿易商をしていて、中国との貿易で財をなしました。
—法師とは。
康 日本でなら僧侶より神主に近いです
—大法師のご出身は台湾のどこですか。
康 台北の郊外の板橋(バンチャオ)というところですよ。
—このようなお宮を建て

るきっかけは。
康 臍臓関係の大病をして神様に助けていただきたい、神様に対する感謝と、他の人も参拝のできる神縁もゆかりもなく、中華街があるわけでもないのですが、一から整備して、このお宮さんを建てたのです。
—お告げというの
康 詳しい内容は私も聞いていませんが、方角とか聖天宮の形も全部お告げがあつたようです。
—建てる前、ここ(坂戸市塚越)はどんな場所だった
康 ここは雑木林と桑畑で、建て始めた時は、若葉の駅もなく、前の道路もなく、農道だけでした。



全景

社を建てようと思いましたが、最初、台湾で建てようとしたら、お告げでここ(日本の坂戸)にしないと言われたのです。



中庭と本殿



本殿入口



前殿屋根の装飾

— 大変だったでしょうね。
康 敷地は大体7千坪あります。個人で、しかも外国人が、これだけの土地をまとめるだけでも考えられないですね。大変な苦労はされたと思います。いろいろな地主さんを説得して買っていかなければいけない。いきなり来て、土地を買いた

いと言われても、普通はまとまらないでしょう。しかも宗教施設ですから、とまどう人はいたかも知れないですね。
 — 建設はいつから。
康 昭和50年代です。出来上がったのは平成7年です。15年以上かかっています。
 — 建物の様式は。

康 形は全部お告げがあったわけです。台湾の神社の様式はありますので、宮大工に任せられた部分もあったと思いますが。
 — 方角はどちらを向いていますか。
康 真南でなく東南です。お告げでこの方角も出たのですが、真南であると、全然日の当たらない北側ができますが、東南なら

裏側にも日が当たります。
 — 道教のお宮としては大きい。
康 台湾では小さいお宮さんが多く、こういう大きいお宮さんは少ないです。これは大きい方です。
 — 資金はいくらくらい。
康 正式な数字は難しいですが、結構な金額です。個人ですべて負担されたのですか。

康 始めたのは父ですが、それに協賛してお金を出した人がいます。台湾の人も日本の方もいらっしゃいます。
 — 大工さんは。
康 台湾から呼びました。本場の人でないとは色が形が全然違いますから。中でも一流の宮大工を呼んで作りました。台湾の宮大工はそれぞれ分野が特殊であって、石は石だけ、木は木だけ、金箔は金箔師だけと、全部役割分担されている。それぞれで一流の、大工を探して、しかも日本に連れてこなければいけない。父の人徳がなければできないでしょう。これだけのものを15年で仕上げたのは奇

跡に近いかもしれません。同じものを今作れと言われてもできないと思います。まず材料が揃わないでしょう。作りも非常に凝っています。

—現在はお宮として一般の人も参拝できるわけですか。

康 ここは下町がありませんが、当初から一般に公開しています。信仰でいらつしやる方の他、観光で来られる方も多いです。

—ここを建てたのは、自分も神さまに助けていただいたので、他の人もご利益にあやかれるようにということからです。ただ宣教、布教を目的にしているわけはありません。神さまに救いを求める人がいれば、ご自由にならざるで、道教の精神も元々そういう精神です。

—入場はいつでもできる。康 そうです。—反応はどうですか

康 結構、いろいろな人が来て、初めて来て、癒されるという方が多いです。これからも、もう少し地域に根づいて、憩いの場として一般の人が多く来てくれるように活動していきたいと考えています。

—毎週土曜に門前の広場で太極拳が開かれている。**康** 聖天宮が直接運営しているものではありません。この雰囲気とかロケーションがいいので、中国・台湾の公園をイメージしてぜひここでされたというところで、協力しています。教室ではないので、どなたでも自由に参加できます。土曜日の朝です。

—日本では道教はあまりなじみがないです。**康** 道教は元々信者であるとか信者でないとか区別はしていません。一つの生き方とも言えますし、台湾では風習の一部です。

台湾で、「あなたは道教の信者ですか」と聞いたら不思議がられると思います。

—こういう施設は日本に他にありますか。**康** 横浜中華街の他、各地に孔子廟、神戸の南京町に關帝廟があります。敷地から建物まで、国内ではここが一番大きいと思います。道教はそのままの形で日本に入ってきたのはわずかで、風水、陰陽道、易などの形で断片的に入ってきています。

—孔子廟は道教の施設ですか。**康** 厳密には難しいですが、孔子も中国人ですから大本の思想は共通です。作りも似ています。道教は中国の歴史と同じくらい古い宗教で、それを哲学としてまとめたのが老子や孔子です。日本の神道と同じように民間信仰から始まっています。

—本尊は。**康** 「三清道祖」と言います。よく「道祖神」と間違われますが、道祖はすべての始まりの意味です。道教でも一番位の高い神さまで。真ん中の「元始天尊」は天と地を作った神様で、「道德天尊」は道德の神様、「靈寶天尊」は魂を授ける神様です。日本の神社と違

「本尊」

—本尊は。

康 「三清道祖」と言います。よく「道祖神」と間違われますが、道祖はすべての始まりの意味です。道教でも一番位の高い神さまで。真ん中の「元始天尊」は天と地を作った神様で、「道德天尊」は道德の神様、「靈寶天尊」は魂を授ける神様です。日本の神社と違

い、ご神体はつきりしています。彫刻像になっていて、男の神様は皆ひげが長いです。

—実在の人物ではない。**康** 伝説ですね。いろいろな説があり、老子が道德天尊になったという説もあり、逆に道德天尊が降臨して老子になって道德を広めたという説もあります。

「参拝」

—参拝はお願いごとをするのですか。

康 そうです。日々のお願いをします。お願いごととはこと細やかにした方がよいです。まず自己紹介をし、「商売繁盛」、「家内安全」だけでなく、「家内安全」なら、今の家族の状況、お孫さんのことなら学校の名前、苦手な勉強まで、日々の暮らしの報告



本殿内、正面奥に本尊



参拝作法

康 楠の彫刻を釘なして組んで金箔を施しています。このように彫り物で埋め尽くす天井は珍しいです。前殿と本殿の2ヶ所あり、前殿は万物を表す天井で、1万以上の部品を使って組んでいて、細かい魅力的です。真ん中のドーム状のところは八画形になっており、「八卦」は易に

も使われています。八卦の組み合わせで万物ができたというのが中国の伝説です。八卦の下でおみくじをするとよく当たる。八卦の下でおみくじをするのが正式なわけです。よく「当たるも八卦当たらぬも八卦」と言います。本殿の天井はらせん状に組んでいる。このような形は珍しいです。技術的にも作るの是非常に難しいです。これは大極を表した天井です。すべての始まり、宇宙の始まり

康 山門神と言います。ここはお宮さんの正門になり、門番として彫っているものです。門を閉め

康 高き4・5尺、1枚板です。これだけの大きさですから1千年以上の木でしょう。しかも何年も乾かさないとすぐには彫れません。普通は寄木になりますが、これは羽

—天井の説明をしていた

「天井」

—線香を使うのですか。
康 長いお線香を持ってお願いをします。台湾では、お線香は供養でなく祈願のお線香です。自分の気持ち煙となって天に伝わりますので、線香は火をつけて持ったままお願いをします。

だけですか。



前殿天井

とい

うことで、その下に神様が鎮座しています。その、神様の世界からすべてが始まりましたということを表すのが本殿全体の構図なんです。

「門神」

—この像は。

康 山門神と言います。



本殿天井

とる

外側に向きます。
—これは彫刻ですか。
康 楠の彫刻です。台湾で彫ってから持ってきたものです。
—大きさは。

「おみくじ」
 康 全部で10体あります。それぞれ違った神様です。
 掘り出したものです。衣や弓の弦、花、爪までいくつありますか。
 康 全部で10体あります。それぞれ違った神様です。
 康 日本の神社と同じように台湾にもおみくじがあります。台湾ではただ番号を引くだけでなく、それが自分に合っているかどうかを神様にうかがわなければいけないので

「おみくじ」

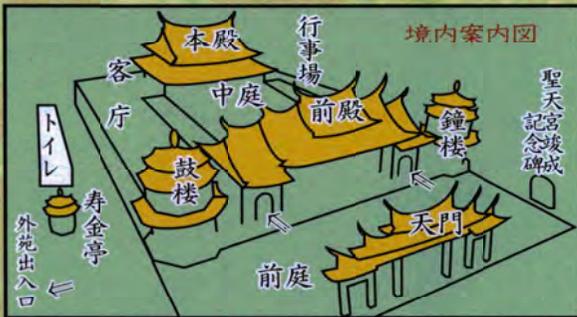
片陽側が神の投げた杯の陰陽が両片側が片陽側。号ばけ出方のとて投神のが片陽側。



門神

の許可は下りない。ものごとは始まりがなると終わりがないという考えから来ています。許可が出ないと引き直なりと出る人もいますが、気持ちに迷い

宗教法人 聖天宮 (道教のお宮)
 〒350-0209 埼玉県坂戸市塚越5 1-1
 電話：049-281-1161 FAX:049-283-1110
<http://www.platz.jp/~seitennkyuu/>
 拝観時間：10時から16時 (年中無休)
 拝観料金：300円 (団体割引あり)
 中学生以下、障害者無料



外苑	客庁	行事場	本殿前	前殿	鼓楼	鐘楼	天門
赤松林、休憩、散策	祈祷待合室	祈禱祈願等を行う場所	参拝、寿金、お守り、陰陽天井	おみくじ、門神、八卦天井	太鼓があり三時に鳴ります	鐘があり三時に鳴ります	天宮への門



電車：東武東上線若葉駅(東口)から2.5km
 バス：東武バス「戸宮交差点」から300m
 高速：関越自動車道鶴ヶ島IC・坂戸出口から3.5km
 圏央自動車道坂戸ICから1.5km
 駐車場：100台(無料)



おみくじ

があつたりするとなかなか出ないとされています。参拝の仕方、おみくじも違います。聖天宮に來られて、台湾の参拝体験をしてみてください。